

研究結果

本研究では、日系雑工業が近代上海に進出した動機と、その設立者・経営者の誕生の経緯を探究することによって、次のことを明らかにした。

まず、日系企業の上海進出を促すきっかけを詳しく分析したことにより、その動機が多様性を持ち、そして、それが日系工場の雑多性（多業種の工場の大量の存在）という性格を形成させる要因の一つであったことが判明した。

また、このような背景に繋げ、上海に進出し、工場を設立した者の出身の探究を通じて、その工場には、貿易商と工業家と技術者によるものがそれぞれ 49%・37%・14%を占め、中小貿易商と中小工業家と技術者による工場が大半だったことが明らかになり、上海における日系雑工業の零細性という性格の一因が分かった。

そして、日系工場の経営者では、その出身の調査により、中小貿易商出身者が工場経営の主力を担い、技術者出身の者も多くあり、その両者の比例はかなり多数で、工業家出身者を越える傾向だったことが分かり、また、東亜同文書院の出身者が各業種で活躍し、書院生特有のパワーを発揮していたことも分かった。更に、経営者たちがその舞台に上がった平均年齢が 30 才ぐらいであることも調査統計で明らかにした。これらのことから、経営者の中に貿易出身者と技術出身者が多く、且つ年齢上普遍的に若いゆえに工場経営経験の不足が否めず、事業失敗に終わるものが多かったことが、日系工場の短期性（設立時間の短いこと）を齎した要因の一つであることも判明したのである。

近代上海における日系雑工業は、雑多性・零細性・短期性などの特徴を合わせ持つ。その成因は分析すればいろいろあるが、本研究で明らかにしたように、日系雑工業の上海進出の動因と設立者・経営者の性格も、その特徴を形成させた要因だろうと思う。

[謝辞] 本研究をご支援いただきました住友財団研究助成に心より厚く御礼申し上げます。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表（題名・発表者名・会議名・日時・場所等）：

論文（題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等）：

「近代上海の日系雑工業企業における経営者の系譜」

A Study on the founders and managers of Japanese Industry(Excluding Cotton Spinning) in modern Shanghai History

『立命館経済学』第 55 巻第 5・6 号（2007 年 3 月）に掲載（pp. 62～78.）

書籍（題名・著者名・出版社・発行時期等）：

『近代上海 日資工業史（1884-1937）』許金生著、上海世紀出版社、2009 年 5 月
(ISBN 978-7-80730-794-5)